

# ものれーる

VOL.9 2006.3発行



武蔵村山市 都市整備部  
多摩モノレール推進担当  
042-565-1111(代表)

## 新青梅街道拡幅再整備とモノレール延伸の早期事業化を要望

～市長・正副議長が合同で粘り強く要望活動を展開～

去る3月14日(火)に、武蔵村山市長、武蔵村山市議会正副議長が都庁を訪問し、東京都都市整備局長及び東京都議会議長に対し、「新青梅街道拡幅再整備と多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期事業化」について要望活動を行いました。

この際、都市整備局長からは「武蔵村山市民の皆様の熱い想いはしっかりと受け止めました」都議会議長からは「多摩全体の問題として積極的に取り組んでいきたい」との力強い



【梶山局長(右側)に荒井市長、金井議長、長井副議長が要望書を提出】



【川島都議会議長(中央)との会談】



コメントをいただきました。

また同日、多摩都市モノレール㈱社長を訪問し、都庁での要望活動報告とあわせて武蔵村山市民のモノレール延伸への期待を伝えました。

武蔵村山市では、モノレール延伸を悲願とする市民の意向を踏まえ、次期整備路線である新青梅街道(上北台から箱根ヶ崎間)の拡幅再整備とモノレール延伸の早期事業化を実現すべく、東京都等関係機関に対し、今後も継続的に要望活動等の働きかけを実施してまいります。

## 新青梅街道沿道環境形成指針策定に関する調査を実施中

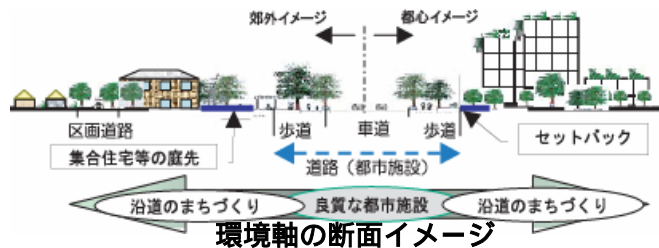
武蔵村山市では、モノレール延伸に関する要望活動を展開していくとともに、モノレール延伸につながるまちづくりの検討を進めています。

将来のモノレールの導入空間ともなる新青梅街道拡幅再整備については、幅員等の都市計画が変更されているものの、それに伴う沿道地域における用途地域等関連する都市計画の変更が追従しきれていません。

そこで、これらの方向性を定める必要があることから、新青梅街道拡幅区間の沿道形成指針策定に関する基礎調査を、平成 17 年度に実施いたしました。その中では「多摩地域における都市計画道路の整備方針」で示された「環境軸の形成」の検討も行っております。

平成 18 年度も、引き続き検討を進め、「環境軸の実現」に向け、さらに具体的な方策の抽出をめざします。

この調査内容については、後日ご紹介する予定です。



## MMシャトル&多摩モノレールに乗って

## 春の武蔵村山へお出かけください

### 野山北公園（カタクリ）

野山北公園内の「学習田」の南斜面約 700m<sup>2</sup> には、3 月末から 4 月にかけて約 2 万株のカタクリが自然群生し、見学者も多く訪れます。カタクリの花の群生地としては規模が大きく、見頃のときには、紫色のかれんな花が春の風に揺らいでいます。

散策自由 駐車場：なし 交通：多摩モノレール上北台駅から MM シャトルバスで、かたくりの湯下車、徒歩 5 分



自転車道さくらのトンネル



MM シャトル&多摩都市モノレールをおおいに利用しましょう。

交通渋滞緩和 交通騒音減少 排気ガスによる CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) を減らし、人に優しく・安全な街を・自然環境を大切にする街にするため、公共交通機関の積極的利用をお願いします

**多摩都市モノレールの積極的な利用を進め、市内早期延伸の実現を！！**

「ものれーる」に対するご意見・ご感想を是非お寄せください。

E メールでの投稿 [m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp](mailto:m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp)